

「リキッドバイオプシーによるがんゲノム解析基盤の検討」 に参加された患者さんへ

本研究では、「説明・同意書」に基づき、本研究への参加について同意された方から血液試料を提供して頂き、腫瘍 DNA の解析技術を検討しています。

下記に本研究の概要を示しますが、研究参加への同意を頂いた後に、研究計画の一部を変更するため、これについてご説明致します。この追加変更について同意できない場合には同意撤回することができますので、お申し出ください。

研究の概要

- 課題名** : リキッドバイオプシーによるがんゲノム解析基盤の検討
研究代表者 : 今井 高志 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構量子医学・医療部門 QST 病院 治療診断部治療課、メディカルデータバンク室 室長
医療上の研究責任者 : 山田滋 (QST 病院 副病院長)
研究目的 : 膵がんの重粒子線治療を受けられる患者さんから血液を提供して頂き、その中に含まれるがん遺伝子の DNA を調べることによって、リキッドバイオプシー（血液中に剥がれ落ちたがん細胞やさらにはがん細胞が壊れて漏出した DNA を回収し、遺伝子を調べる方法）技術の有効性を確認することです。
対象者 : QST 病院で重粒子線治療を行った膵臓がん患者さん
研究期間 : 2019 年 7 月 26 日 - 2023 年 3 月 31 日

今回の研究計画変更の内容

最新の分子生物学的解析方法を用いるため、一部の DNA 解析においては千葉県がんセンター研究所と共同研究を行うこととなりました。

共同研究機関

千葉県がんセンター 研究所

責任者：下里 修 腫瘍ゲノム研究室 室長

匿名化した番号を付けて誰の DNA であるか分からなくした試料を、高精度の遺伝子変異解析が実施できる千葉県がんセンター研究所に送り、特定のがん遺伝子上の変異を検出できるか調べます。提供する DNA は解析に必要な最低量とします。また、がん遺伝子上の変異と関連した診療情報の解析も行われますが、診療情報も匿名化されます。千葉県がんセンターでの解析データの保管、廃棄は千葉県がんセンターで決められた手順に基づき厳重に実施されます。

この研究への参加について同意撤回を希望される方（または代理の方）は、できるだけ 2020 年 10 月 31 日までに下記「問合せ先」へご連絡ください。この期間を過ぎた後でも、いつでもお申し出を受け付けますが、個人情報と切り離された状態で解析に使用してしまった場合などにはデータを取り除けなくなることがあります。その場合も、あなたの個人情報が公表されることは一切ありません。

問合せ先

QST 病院メディカルデータバンク同意・相談窓口
〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川 4-9-1
電話 043-206-3306